

下関市 男女共同参画レター 13

男女共同参画の視点からの防災

災害時は、誰もが過酷な環境に置かれるため、「みんなが大変なのだから我慢しなければ」と思い込んでしまう傾向があります。そして、避難所の運営は男性リーダーがほとんどであり、女性から要望は出しにくく、出したとしても男性には理解されないこともあります。

これからの防災は災害時に女性と男性が受ける影響やニーズの違い、避難所等で女性が直面する課題等を理解し、女性の視点立った取り組みを進めることが重要です。



女性が力を発揮するこれからの地域防災



女性が地域の防災活動に積極的に参画し、女性の視点に立った災害対応を行うことは、地域の防災力向上につながります。

そこで、地域で女性が防災活動するにあたっての課題、地方公共団体及び自治会・自主防災組織等の先進的な取組について調査・分析し、女性の防災リーダーが地域で活躍するためのノウハウと事例をとりまとめた「女性が力を発揮するこれからの地域防災～ノウハウ・活動事例集～」が内閣府男女共同参画局のホームページで公開されています。

Q&A形式でまとめてあり、読みやすい内容となっていますので、女性の参画が地域防災力の向上に大きな役割を持つことについての理解を深めてみませんか。

男女共同参画講座「女性の声をもっと防災に」開催

令和4年6月25日に勝山公民館で気象予報士・日本防災士会山口県支部女性部長の坂本京子氏を講師に迎え、男女共同参画講座「女性の声をもっと防災に～大切な人、大切なまちを守るため～」を開催しました。

日常から気をつけておくべき心構えや現場の体験から女性の視点がいかに大切かお話しいただきました。

また、100円ショップで購入できる防災グッズを展示しており、受講者の方々は興味津々で防災グッズを手にとっていました。



参加者の感想

- ・女性の気配りや目配りを活かせる方法を考えていきたいと感じました。(70代、女性)
- ・災害はいつ起こるかわからないので、すぐに防災用品を用意しようと思う。(50代、男性)

意識啓発事業『映画上映会』を開催しました

令和4年3月13日（日）下関市民会館中ホールにおいて下関市と男女共同参画ネットワーク下関さんしゃいん21の主催で映画「82年生まれ、キム・ジヨン」上映会を開催しました。

また、映画上映前に下関市から第4次下関市男女共同参画基本計画に関する説明や男女共同参画ネットワーク下関さんしゃいん21から男女共同参画の取り組みの紹介がありました。当日は、185人の市民の方にお越しいただきました。



映画 あらすじ

結婚を機に仕事を辞め、育児と家事に追われるジヨン。常に誰かの母であり妻である彼女は、時に閉じ込められているような感覚に陥ることがあった。「疲れているだけ大丈夫」。そう夫のデヒョンにも自分にも言い聞かせる彼女だったが、ある日から、まるで他人が乗り移ったような言動をするようになる。その時の記憶はすっぱりと抜け落ちている妻に、デヒョンは傷つけるのが怖くて真実を告げられず、ひとり精神科医に相談に行くが、本人が来ないことには何も改善することはできないと言われてしまう。

なぜ彼女の心は壊れてしまったのか。少女時代から社会人になり現在に至るまでの彼女の人生を、見えてくるものとは・・・

参加者の感想

- ・内容が男女共同参画にふさわしいものでした。登場人物の一人ひとりに共感できる部分があり感情移入してしまった。(50代、女性)
- ・妻と男女平等について考える機会としたいと思います。(30代、男性)
- ・希望をもって生きることの大切さを学んだ。感動的な映画でした。(60代、男性)

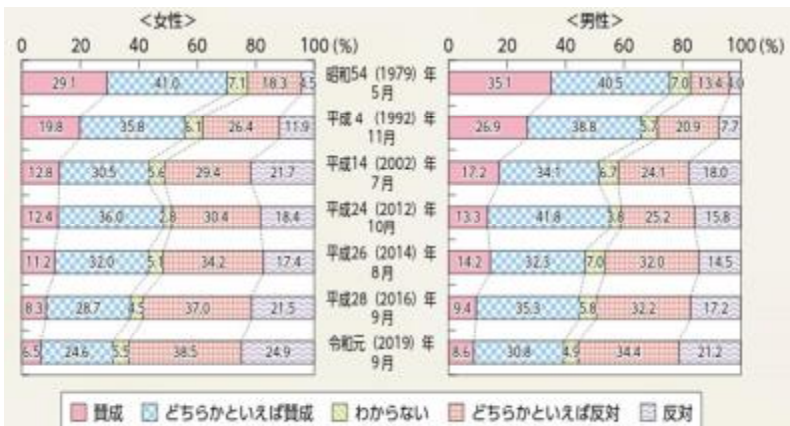


団体の紹介

映画上映会を共催した男女共同参画ネットワーク下関さんしゃいん21は、平成14年4月6日に下関市の男女共同参画ネットワークとして設立されました。男女共同参画社会の実現を目指して、現在28団体が参画し、情報交換・意見交換や学習会を行い市民の手による豊かなネットワークを広げています。会員は随時を募集しておりますので、興味を持たれた団体はお気軽に3ページ記載の事務局までご連絡ください。

男女共同参画白書データ

内閣府は6月14日に「令和4年版男女共同参画白書」を公表しました。右のグラフは、『夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである』という考え方に関する意識の変化ですが、性別役割分担意識に反対する人の割合は、男女ともに上昇傾向で、平成28年の調査から反対する人の割合が賛成の割合を上回っていることがわかります。



男女共同参画ネットワーク下関さんしゃいん 21 の活動紹介



令和4年3月映画上映会



令和4年6月交流会

男女共同参画ネットワーク下関さんしゃいん 21 では、例年、男女共同参画意識啓発事業として講演会を開催しています。令和3年度は新型コロナウイルス感染対策を行ったうえで映画上映会を開催しました。当日は関係者と協力し、来場者の受付や客席誘導などを行いました。



男女共同参画ネットワークだより

また、広報誌の「男女共同参画ネットワークだより」を発行し、活動報告や参画団体の紹介を行っています。広報誌は人権・男女共同参画課にも設置していますので、是非ご一読ください。

最近では、参画の団体との交流も少しずつ再開され、令和4年6月に海峡ビューしものせきで交流会を開催しました。

事務局連絡先

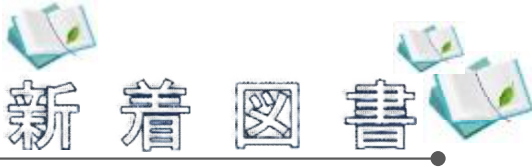
090-9061-3061

(壇 圭子)

男女共同参画週間(6月23日~6月29日)

男女共同参画社会基本法の公布・施行日である6月23日からの1週間は内閣府が主唱する「男女共同参画週間」です。内閣府では『男だから』『女だから』といった性別役割意識にとらわれず、個性と多様性を尊重し、自身の可能性を信じて誰もが生きがいを感じられる社会を実現していくきっかけとなるキャッチフレーズを募集し、応募総数2,522点の中から『「あなたらしい」を築く、「あたらしい」社会へ』に決定しました。下関市においても期間中にパネル展を実施しました。今年度は(公財)日本女性学習財団から「なるほどジェンダー」パネルをお借りし、展示しました。





人権・男女共同参画課では、男女共同参画に関連した貸し出し用図書（約400冊）を市役所 本庁舎 西棟4階の食堂前に備えています。身分証明書をご持参の上、ご利用ください。（貸出期間 2週間以内）

この参画レターは、下関市立公民館をはじめとする社会教育施設（生涯学習プラザ・市立図書館等）に配布しています。

『あん』 ||||| その他
ドリアン助川 |||||
 町の小さな焼き店に働き口を求めてやってきたのは、徳江という名の高齢の女性だった。徳江のつくる「あん」は評判になり、店は繁盛するのだが…。壮絶な人生を経てきた徳江が、未来ある者たちに伝えようとした「生きる意味」とはなにか。深い余韻が残る、現代の名作。

『東大女子という生き方』 ||||| 男性・女性
秋山千佳 |||||
 東京大学に初めて女性が入学して75年。今なお女性比率は二割に満たない。「東大女子」を通して、日本社会の影と未来をあぶり出す。孤独、挫折、ハラスメント… 誰もがぶつかる「人生の壁」をどう乗り越えたのか

『女と男、このしんどさは誰のせい？』 ||||| 男性・女性
描き子 |||||
 恋愛、結婚、育児、仕事の場々でときに起こる考え方の違いや誤解で生まれてしまう男女間のすれちがいやいがみ合いを減らすにはどうしたらいいのか？双方に悪気はないけれどなぜか起こってしまう男女間の対立について、考えるイラストレーターとして活動中の描き子さんが客観的に考察するエッセイ&マンガです。

『ないものねだるな』 ||||| その他
阿川佐和子 |||||
 コロナで激変した生活、母亡き後の実家お片付け、忍び寄る老化現象…なんのこれしき！奮闘の日々。読むと気持ちが楽になる、アガワ流「あるもので乗り越える」人生のコツ。

『52 ヘルツのクジラたち』 ||||| その他
町田そのこ |||||
 わたしは、あなたの誰にも届かない52ヘルツの声を聞くと、自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴湖と、母親に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年。孤独ゆえに愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる。

『日本でいちばん大切にしたい会社』 ||||| 労働
坂本光司 |||||
 なぜこの会社には、4000人もの学生が入社を希望するのか？なぜこの会社は、48年間も増益を続けられたのか？なぜこの会社の話を聞いて、人は涙を流すのか？6000社のフィールドワークで見出した「日本一」価値のある企業。

『世界を舞台に輝く100人の女の子の物語』 ||||| 男性・女性
エレナ・ファヴィツィ |||||
 「今と違う場所で生きてみたいって思ったことない？」夢に近づきたい、世の中をよくしたい、知らない世界を見たい…海をわたり、自分の道を切り拓いた100通りの人生の物語を収録。

『春のこわいもの』 ||||| その他
川上未映子 |||||
 感染症が爆発的な流行を起こす直前、東京で6人の男女が体験する甘美きわまる地獄めぐり。ギャラのみ志願の女性、深夜の学校へ忍び込む高校生、寝たきりのベッドで人生を振り返る老女、親友をひそかに裏切り続けた作家…彼らの前で世界は冷たく変貌しはじめる。これがただの悪夢ならば、目をさませば済むことなのに…。

『全部運命だったんかい～おじさん社会と女子の一生』 ||||| フェミニズム
笛美 |||||
 男性中心の広告業界でがむしゃらに働いてきた20代。焦って婚活したもの、高学歴・高所得・仕事での成功が壁になる。なんだか辛くて生きにくい。それは女性がひとりで生きていくのが難しい様に、男性に依存しなければいけないようにこの社会が作られているから。バリキャリ女子がフェミニズムに目覚めるまでを涙と笑いで綴るエッセイ集。

『ボクは食器洗いをやっていただけで家事をやっていなかった』 ||||| 家族
土屋礼央 |||||
 人間関係ははぐくむコツは視点の切り替えにあり！～結婚生活約8年の土屋礼央が、妻との関係、子どもとの関係を振り返り、お悩みを解決。そこからみえてきたのは、家庭の中だけではない、人間関係を円滑に進めるヒントだった……！

『同性婚 私たち弁護士夫婦(ふうふ)です』 ||||| ジェンダー
南和行 |||||
 同性愛者である弁護士が、自分の同性婚や、弁護士として関わってきた同性愛者の葛藤と困難、そして法律が家族や婚姻をどう捉えているのかについて述べた。加えて、憲法24条と同性婚について論じる。同性愛者だけでなく、多様な性を当たり前と感じる社会であってこそ、すべての人が自分らしく生きられるのだ。

『「前向き」に生きることに疲れたら読む本』 ||||| その他
南直哉 |||||
 「前向き」に生きることに疲れたら、後ろを向いてもいい。人生、人間関係、恋愛、仕事…どうしようもないモヤモヤした感情を抱えているのなら、そっとページを開いてみてください。きれいなことのない率直な38の言葉は、あなたの不安や迷いを断ち切るきっかけになるはずです。

【発行】 下関市役所 本庁舎西棟4階 人権・男女共同参画課
 〒750-8521 下関市南部町1番1号
 TEL 083-231-7513 FAX 083-231-1437
 E-MAIL smjinken@city.shimonoseki.yamaguchi.jp